

市役所前演舞場及び観光バス対策に関する方針について

1 提案の概要

市役所前演舞場を廃止し、観光バスの乗車場に転換することで、これまで以上に団体ツアーの誘致を図る（降車はこれまでどおりとする）。

2 第8回実行委員会での意見に対する基本的な考え方

【意見1】事業体が事業を受託して2年目での見直しは時期尚早である。

2020阿波おどりでは、開演時間の前倒しや有料演舞場の魅力向上、チケット販売スケジュールの見直し、新しいポスターやホームページを活用した広報活動の充実などにより、チケット販売促進に取り組むこととしている。

2019阿波おどりは2日間公演中止になったこともあり、2020阿波おどりは市役所前演舞場も従来どおり運営することで、今回の見直し等によるチケット販売への効果等を見極め、来年度改めて市役所前演舞場の設置を検討することとする。

【意見2】観光バス事業を確実に実施するための検証作業が不十分である。

観光バス対策は、阿波おどりを安定的かつ発展的に実施していくために重要な課題の一つと考えている。

そこで、2020阿波おどりでは、観光バス業界へのアンケートや観光バス到着・出発時間の調査、時間帯別の試験運行などにより、観光バスに対するニーズや運行計画、渋滞への影響、観光客の動線、警備員の必要人数など、将来的に必要となる観光バス対策の課題について調査・研究していくこととする。

【意見3】市役所前演舞場の廃止に伴う経済損失を十分考慮すべきである。

2019阿波おどりでの市役所前演舞場のチケット販売枚数は12,790枚である。

一方、観光バス乗車場とした場合の利用人数は、最大14,080人（88台×4日×40人）と見込まれることから、阿波おどり期間中における市役所周辺への人の流れはこれまでと変わらず、地域経済への影響は大きくないと考えられる。

将来的に観光バス対策が軌道に乗った場合は、阿波おどり全体の集客数がアップすると見込まれるほか、市役所前あわぎんふれあい広場への観光・物産ブースの出店による新たな購買活動が創出されることの経済効果も期待できる。

3 2020阿波おどりにおける対応方針

(1) 市役所前演舞場について

市役所前演舞場は、有料演舞場として継続する。

なお、2020阿波おどりでは開催時間を前倒しすることとしており、公園内に設置された演舞場（藍場浜、南内町）の開始時間が17時30分となるため、開幕式の会場を現在の市役所前演舞場から藍場浜演舞場へ変更することとする。

そのため、開幕式は17時00分から藍場浜演舞場で実施し、市役所前演舞場は初日も18時00分から開演するものとする。

(2) 観光バス対策について

観光バス対策の実施に向けて、バス待機場所の確保に向けた調査や阿波おどり当日における運行ルートを検証などを行う。